

令和3年度 第3回大谷小学校学校運営協議会 会議録

1 日 時 令和4年2月18日（金）9:00～10:00

2 場 所 大谷小学校 多目的室

3 出席者 石井正雄 藤澤ゆかり 桐生行雄 今別府淳子
(敬称略) 春山茂樹 館松美恵子 内山大輔

4 内 容

○ あいさつ

石井委員長：コロナが収まっていないが、6年の修学旅行までには収まってほしいと願っている。学校にはできる範囲でお手伝いしていきたい。

春山校長：5年生3クラスと1年生1クラスが先日学級閉鎖となつたが、いまは欠席者も減り、少し落ち着いてきている。修学旅行は3月に再延期している。

(1) 教育活動アンケートについて

春山校長：学校行事、特に音楽発表会に対するご意見を多くいただいた。著作権の問題があり、配信することは現時点では難しいと考えている。2月の授業参観で音楽発表会の内容を保護者に観てもらえる機会をつくろうと準備していたが、感染者数が増えてしまい、断念せざるを得なかつた。

通学路については、千葉の事故があつてから、関心が高くなつており、島忠から浜田歴史公園までの道の一部を変更することを検討している。このあと、試行登校を行い、来年度の早い段階で変更したいと考えている。

桐生委員：保護者はコロナの影響が最大の関心事となっていると思う。中止や変更があつても「仕方ない」という声は聞こえてくる。これは、学校が対策をがんばっており、それが保護者や地域にも伝わり、ご理解いただけているからではないか。やはり、情報をしっかりと出していくことが大事になる。

(2) 令和4年度学校教育目標・学校経営方針について

春山校長：大谷中学校区の3校で同じ学校教育目標にしてから、何年か経つた。以前は、3校で共通理解を図りながら、取り組んできたが、今は会議が持てていない状況にある。今年度も「深い学び」について重点的に取り組んでいくことになるが、本校ではこれまでの、学びに向かう姿勢、魅力のある授業に加え、子どもたちの「なぜだろう？」を引き出せる状況を作るということを方針に示した。学びを深めるためには、子どもたち自身が「なぜだろう？」という思いを持つことが大事ではないかと考えている。その思いを持つことができれば、タブレット端末を使ってすぐに調べることもできるので、教師自身もそのような疑問を持たせられるように総合的な学習の時間等で指導にあたつてもらいたい。

石井委員長：このことは、全教科で取り組んでいくことになると思うが、特に力をい
れたい教科はあるか。

春山校長：校内研究で道徳を研究しており、そのなかでは子どもたちが深く考えた
くなる発問について、研究を行っている。教科でなくても、身の回りの
いろいろなことに疑問を感じてほしい。

桐生委員：子どもたちが立ち止まって、いろいろなことに疑問が持てるといよ。そ
こから、まずは人に聞いてみよう、調べてみようということになる。仮
説を立てて、アクションができるようになるとよい。

春山校長：小さいことでもいいので、学びにつなげられるようなったらよい。

藤澤委員：「なぜだろう？」と疑問を持つことは、とても大事。近くの大人に聞く
ことでコミュニケーションが生まれる。経験のある人から教えてもらう
ことが、学びの蓄積となり、生活に生かせるようになると思う。

今別府委員：家庭でも、きょうだいが教えてあげることもある。

内 山：それでは、次年度の学校教育目標・学校経営方針ですが、ご承認いただ
けますでしょうか。

— 全員承認 —

(3) 通学路の変更について（教務担当よりこれまでの経緯を説明）

藤澤委員：登下校にかかわらず、歩き方については指導していくべきだと思う。
中学生も広がって歩いていることもあるので、小学校のうちから安全に
歩く習慣をつけることが大切。通学路は見通しがよく、昔から安全への
意識が高い方がいらっしゃるルートがよいかと思う。

桐生委員：安全には、交通と防犯の両面がある。最終的には、行政や警察も交えて
確認されるのがよいのではないか。また、道路に色をつけるなどの工夫
をすれば迷わなくはなると思う。朝と晩では、日中と比べて交通量が違
うので、その点は気をつける必要がある。

今別府委員：現行ルートは、綾瀬からの抜け道にもなっている。変更ルートは買い物
に行く人も結構通っているので、人の目は意外にあるかもしれない。

桐生委員：朝の様子を見ていると、しっかり歩いている。6年生が下級生の様子を
常に気にして歩いてくれている様子に、いつも感心している。

内 山：このことの進捗状況については、また報告します。

○ あいさつ

館松教頭：若い職員も増えてきている。お気づきの点があれば、その都度ご連絡い
ただきたい。

(4) 次回の日程について

次年度にあらためて連絡します